

取り扱いが容易な流動性アスファルト混合物

ライトガード

LIGHT GUARD



(2022年10月NETIS掲載終了)



S.Shibasaki

「ライトガード」は、滑走路・誘導路の埋込灯器施工法における配管溝充填材として、常温施工可能な流し込みタイプのアスファルト混合物です。



前田道路株式会社

本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0011

[HP] <https://ssl.maedaroad.co.jp/> 事業所一覧▶



これまでの常識を変えた、常温施工型の流動性アスファルト混合物です

滑走路・誘導路の埋込灯器施工法における配管溝充填材として、従来使用していた流動性アスファルト混合物と比較すると多くのメリットがあります。



(2022年10月NETIS掲載終了)

特長

① 無駄が少ない

☆ライトガードは、1缶あたり20kg入りで必要な量だけ使えます。

② 特別な機械が不要

☆ライトガードは、クッカ車が不要です。
現場で材料（特殊バインダ）に砂、石粉、硬化材および少量の水を加え、ハンドマゼラ※を用いて攪拌するだけです。



クッカ車

③ 扱いやすい！

☆常温のため大変扱いやすい製品です。
☆可使時間は約10分、硬化時間は約60分です。
☆硬化後の収縮はほとんどありません。

製品の形態

ライトガードは、缶の中に特殊バインダが入っています。
1缶あたりの練り上がりは20kg(14L)です。
また、計量された砂と石粉、硬化材および水が別途付属されています。



施工方法



砂・石粉、硬化材の添加・混合



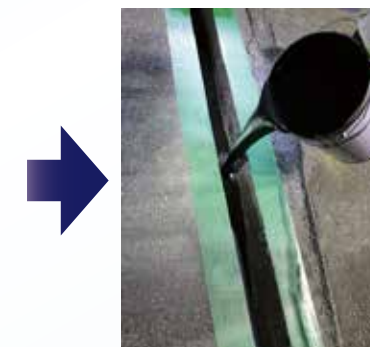
水の添加



混合



※ハンドマゼラ



流し込み



↑保護シート



完成

施工事例

東京国際空港
(誘導路ショルダー)

